



“人工呼吸は苦手……” そう思っている人に朗報！

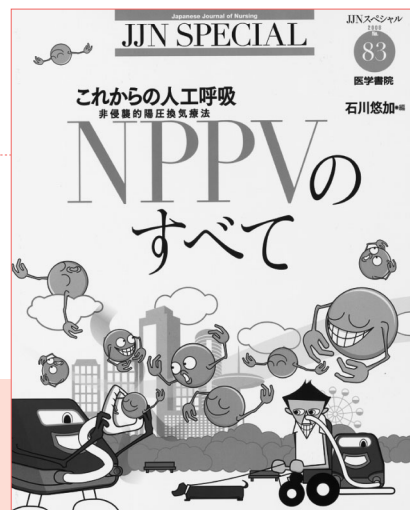
[評者] 鈴木真知子 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系
専攻育成看護学

NPPV(非侵襲的陽圧換気療法)のすべて

これからの人工呼吸 JJN スペシャルNo. 83

石川悠加編

定価 2730 円(本体 2600 円+税 5%) 医学書院 TEL03-3817-5657



本書を手にして初めに思ったことは、表紙や挿絵のイラストのユニークさです。このイラストは、電動車いすや終日 NPPV を実際に使用されている方々によって描かれたと記されています。私が長期人工換気の必要な子どもたちの在宅支援に携わり始めた 1990 年頃は、在宅への移行を可能にするための条件の 1 つに「気管切開をしていること」があげられていました。また、その当時、一般的には「人工呼吸器は、死ぬ間際につけるもの」といったイメージがありました。しかし現在、それらの認識は一掃され、楽しいイラストが表わしているように、NPPV は患者にも、家族にも「やさしい」人工呼吸器で、QOL の維持・向上を可能にする方法であることがわかります。

数年前、私は編者の石川悠加先生と、脊髄性筋萎縮症の重症型(SMA-1)で、兄弟ともに 24 時間 NPPV を使用されているニュージャージー州のご家族を訪問したことがあります。9 歳と 5 歳の兄弟は大好きな野球のグローブやスニーカー、地球儀や熱帯魚が泳ぐ水槽などが置かれている子ども部屋で、笑顔のお母さんや訪問看護師、作業療法士からケアを受けていました。そして、ケアが

終わると兄弟は座位で電動車いすを利用し、お友達と近くの川へ魚釣りに出かけるということでした。

それらは正に、気管切開と NPPV による人工呼吸管理の違いを表わしており、日本でもこのような光景を目にする日が一日も早く来ることを心から願ったことを思い出します。

本書は、それを現実にするための手引となるものです。

本書の特徴の 1 つは、看護や介護の視点から多くのわかりやすい図や表、写真が用いられていることであり、要所要所に NOTE, COLUMN, POINT として関連する基本的な知識や誤解を招きやすいと考えられる事象、トピックスなどを取り上げ、それらの要点を整理して記述していることです。関連する DVD 情報とその入手方法までが示され、実際に役立つうれしい情報です。

本書は、NPPV にチャレンジしようとする方々のために、NPPV 関連用語略語集から始まります。そして第一部では NPPV の歴史や方法そのものの説明、効果とメリット、基礎知識が、それまでの気管切開や気管内挿管による人工呼吸との違いから解説されており、人工呼吸への苦手意識をもつものをスムーズに誘導

してくれています。

それらの知識を基にして、第二部の NPPV の導入、第三部の NPPV の管理、第四部の NPPV の看護、第五部の疾患別 NPPV の管理とケア、というように実践の流れにそって知識を導いていきます。特に、第四部は、日常生活支援について、長年ケアを実践してきた支援者だからこそのわかる切り口から、ポイントをわかりやすく解説されており、これから看護や介護を行なおうとする方々に大いに役立つと思われます。

また、小児 NPPV の看護として項が設けられ、小児の特性に応じた内容が記述されていることは、小児への経験例が少ないなかでケアに取り組もうとしているものにとって、とても助かります。

付録として使用可能な人工呼吸器、主なインターフェース、職種別役割分担が示され、タイトルどおり「この 1 冊で NPPV のすべてがわかる」必読書です。NPPV のケアは、看護や介護の力で工夫しながら対象者の状態を変えていくことができるのです。その醍醐味に気づかせ、あらためて看護や介護の面白さを発見させてくれる、本書はそんな一冊でもあるといえます。